

環境保護運動の前進のために

環境問題懐疑論を徹底的に批判し、環境保護運動の方向を示す



共著者：

山崎 清 原 三郎 中西克至
尾崎一彦 山田耕作 稲岡宏蔵

2008 年 4 月 10 日発行 緑風出版

四六判上製 283 頁 定価 2400 円+税

ISBN 978-4-8461-0804-5 C0036

目次：

- 第 部（ダイオキシン・環境ホルモンは怖くないのか、石炭はエネルギーの切り札か＝渡辺・林氏の『ダイオキシン』批判、西川氏の『環境ホルモン』批判、小島氏の『エネルギー』批判など）
- 第 部（地球温暖化と国際政治＝IPCC 第 4 次報告、京都からポスト京都へ・2 未満を目標になど）
- 第 部（懐疑論者は世界をいかに見るか＝中西リスク論批判、ロンボルグ批判）

まえがき より・

日本の環境問題懐疑論は必ずしも思想的にまとまったものではない。個別的な事実やデータを全体から切り離して一面的に評価するという「トリック」を用いて、ダイオキシンや環境ホルモンなど合成化学物質の人への影響や温暖化を過小に評価し、あるいは事実上ありえないものとして、生産や消費活動における経済性（利便性）を強調する点では共通している。懐疑論をその社会的背景にまでさかのぼり全面的に批判し克服することなしには、政府の環境政策に対する全面的な批判へと推し進めることなしには、環境保護運動の前進はありえない。

懐疑論は高まる環境保護への反動でもある。ロンボルグなど懐疑論者は、環境保護の高まりの中で確立されてきた諸原則（「汚染者負担原則」「予防原則」「共通だが差異のある責任の原則」）及びそれに基づく環境規制を葬り去るか、あるいは骨抜きにしたいのである

=====

著者を通じて本書を購入したい方へ（著者の一人が山崎ですので、著者割引が利用できます）

頒価は、（一部）2 1 0 0 円 です。送料は、1 冊 290 円、2～3 冊 340 円、4～5 冊 450 円 です。

振替口座 00900-5-2896 ダイオキシン関西ネット

または 00910-6-94171 地球環境と廃棄物を考える会

（連絡先 TEL/FAX: 06-6336-4154 、E-mail: aiko-kiyoshi@tcct.zaq.ne.jp）